

評価項目

学習指導

重点目標

主体的に学び、高め合う子どもの育成

現 状

これまで、授業でICTの活用や「つながる場」の設定で、授業改善の共通実践に取り組んできた。県学習状況調査等では、5年生と6年生が県平均を大きく上回ったが、4年生は国語で県平均より大きく落ち込んでいる。

具体的な目標

○ICT機器を効果的に活用するとともに、学習指導要領各教科の目標にある「見方・考え方」を働かせることを意識して授業改善に取り組む。
○県学習状況調査等で、全学年が県平均を上回ることを目指す。

目標達成のための方策

○学びの型を活用する。（「八森っ子の学び合い」「秋田の探究型授業」）
○ねらいを明確にした効果的な交流の場を設定する。
○発問の吟味や「ゆさぶり」など思考を広げたり深めたりするしかけをする。
○振り返りを充実させる。（振り返りの視点、振り返りの価値付け）

P

評価項目

生徒指導

重点目標

基本的な生活習慣を身に付け、好ましい人間関係づくりができる子どもの育成

現 状

素直な児童が多く、全員落ち着いた学校生活を送っている。学校では元気のよいあいさつができるが、地域ではあまりできない児童がいる。あたたかい言葉遣いや思いやりのある行動をするなどの指導は継続してきている。

具体的な目標

○あいさつや「あたたか言葉の木」を活用した活動などを充実させ、心の健康につなげていく。
○県の調査等で、関連項目の回答の肯定の割合が県平均を上回る。

目標達成のための方策

○委員会や縦割り班活動等を通して啓蒙活動を行う。
○授業、朝・帰りの会、班活動等において、発言やがんばり、よさを多面的に認める場を設定する。
○学校生活の様々な場面において目標を設定させるとともに、ゴールまでの道筋を明確にさせて取り組ませる。また、「見守る」姿勢を大切に、子どもたちが自分で解決していこうとする場面を意図的に設定する。
○子どもを語る会や生活アンケート、個人面談等により、気になる児童の全職員による共通理解を図り、支援体制を整える。

P

評価項目

ふるさと・キャリア教育

重点目標

地域に笑顔と元気を届け、地域に感謝し、貢献する子どもの育成

現 状

町CSを母体に、「JA秋田やまもと」や「読み聞かせグループかもめ」など、様々な団体と連携し多様な教育活動を展開している。昨年度も、八峰白神ジオパークを中心としたふるさと教育を実施することができた。児童が、地域に笑顔と元気を届け、地域に貢献する活動に進んで取り組むためにも、まずは地域での積極的なあいさつを心掛けることを呼びかけている。

具体的な目標

○地域学習や奉仕活動等を通して、地域の方々や専門の方々と触れ合うことで、ふるさとのよさや課題に気付き地域に貢献しようとする意識を高める。
○県の調査等で、関連項目の回答の肯定の割合が県平均を上回る。

目標達成のための方策

○八峰白神ジオパークを中心とした地域学習の推進を図る。
○小・中連携事業や地区児童会で、地域に貢献する活動を実施する。
○生活科、社会科、総合的な学習の時間で広く八森地区に出かけ、楽しく地域のよさを学び体験する活動を行う。

P